

鳥取県内の公共空間に 置かれている野外彫刻

鳥取大学地域学部附属芸術文化センター & 有限会社キーワード共同プロジェクト

石田英一 地域学部地域連携研究員・有限会社キーワード取締役
石谷孝二 担当教員・地域学部附属芸術文化センター教授



【目的と方法について】

作品を一つ一つ丁寧に取材調査し、資料として整理し、データベース化することには次のような目的が考えられる。

1. 鳥取県内に設置されている野外彫刻について、そのほとんどを網羅し、基本情報を集め、資料として学術的価値を高めること
2. これからの野外彫刻のこれからの役割を考えていく資料とすること
3. データベース化し公開することによる 2 次的、3 次的な資料の有効活用への期待
4. 野外彫刻の調査を通じて、周辺の空間に対する理解を深めたり魅力を発見し、広報すること
5. 野外彫刻をキーワードとしながらまちづくり・地域活性化の可能性を探ること

調査資料のデータベース化にあたり、インターネットを有効に活用していくことを大きな特色としている。

まとめた資料、写真を Web サイトのコンテンツとして落とし込み、ネット上の Map サービスやその他のデータと組み合わせることでより様々な効果を期待すると同時に、多くの人々へ向けて鳥取の野外彫刻を発信していく。

第一期公開 Web サイト 2010年3月(調査彫刻数100点)



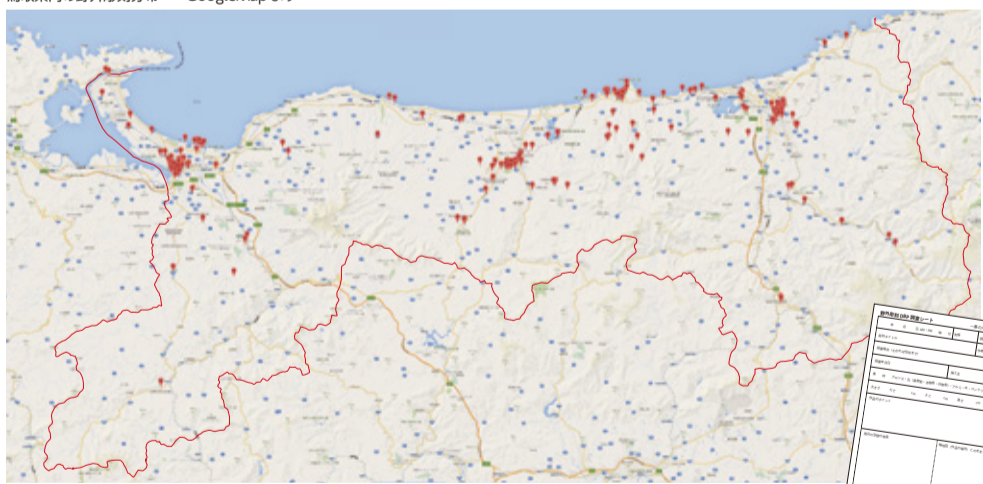
第二期公開 Web サイト 2011年3月(調査彫刻数197点)



第三期公開 Web サイト 2013年3月(調査彫刻数287点/2014年11月現在)



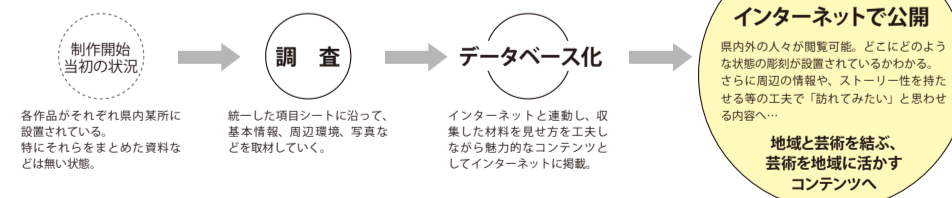
鳥取県内の野外彫刻分布 ~GoogleMapより



各彫刻作品の詳細ページ



Webサイト制作のフロー



【今年度の研究とプロジェクトの今後】

公開して4年目となったWebサイトのアクセス解析の状況などを踏まえながら、アクセス数の多いページや検索ワードの状況からどのような作品に興味関心が寄せられているのかを探っていく。また、県内の野外彫刻作品についてはほぼ網羅しつつある現状で、「彫刻作品」というものの定義をどう考えるのかを再考し、今後の調査の拡充とウェブサイトのブラッシュアップにつなげていきたい。そして今後は、他のアートプロジェクトや施設、アート関連のWebサイトとの連携も深めていながら、地域とアートの係わりをよりたくさんの人々に発信していきたい。